2025年3月期　通期

# アルピコホールディングス株式会社
# 決算補足説明資料

（東証スタンダード　証券コード　297A）

2025年5月14日

# 目次


1．2025年3月期 決算概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2頁

2．2026年3月期 見通し ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12頁

3．長期ビジョン及び中期経営計画の概要・・・・・・・・・・・・・・ 19頁

APPENDIX ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25頁


**« 注意事項 »**

- 本資料は、当社及び当社グループの情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではございません。投資をされる際は、ご自身の判断と責任で行われますよう、お願いいたします。
- 本資料は、当社及び当社グループの見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通し等に関する記述は、現時点で入手可能な情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいて当社が作成したものであります。実際の業績は、様々な要因により予想数値と著しく異なる結果となる可能性があります。
- 当社及び当社グループ以外に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
  また、本資料は2025年3月31日現在のデータに基づいて作成しております。本資料の転載はご遠慮ください。

# 1. 2025年3月期通期 決算概況

# 2025年3月期 通期決算概要（連結）

## ■決算概況

（単位：百万円、百万円未満切捨て）

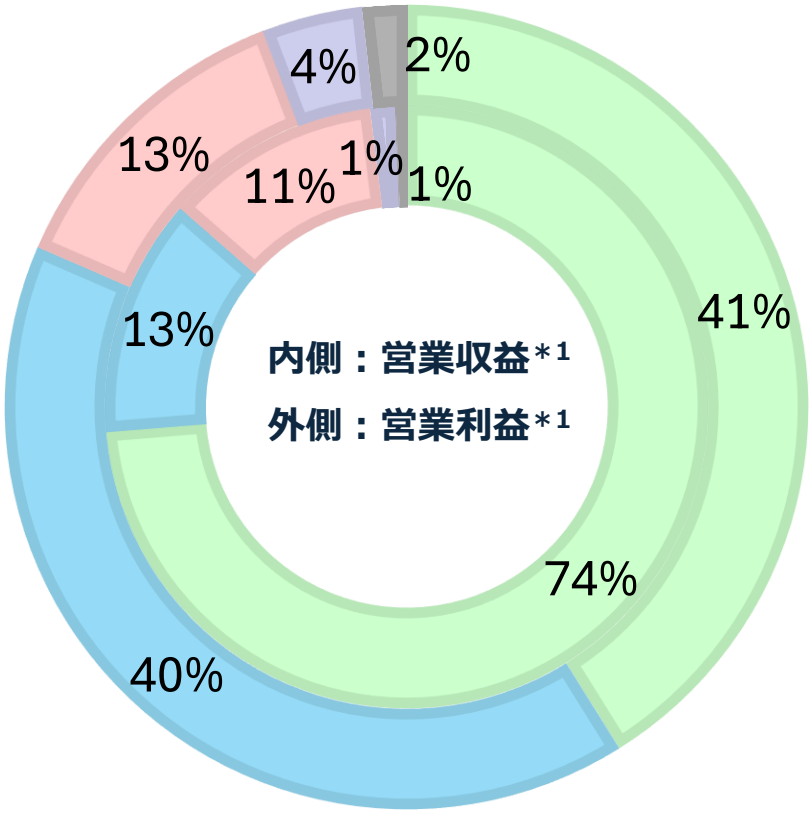
| | 2024年3月期 | 2025年3月期 | 前期比 | 増減率（%） |
|---|---|---|---|---|
| 営業収益 | 99,620 | 103,836 | +4,215 | 4.2 |
| 営業利益 | 2,448 | 3,412 | +963 | 39.4 |
| 経常利益 | 2,123 | 3,060 | +937 | 44.1 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 904 | 2,292 | +1,388 | 153.5 |

**概　況**

- 当社設立以来、2025年3月期は過去最高益を更新。
- 農産物を中心に企業物価の上昇が継続しましたが、流通事業においては価格転嫁も進めながら増収となりました。
- 運輸や観光業界では深刻な労働力不足が継続していますが、為替の円安基調や自然災害の発生も少なかったことから、長野県内では上高地、白馬、戸隠を訪れるインバウンドが増加し増収に大きく寄与しました。
- コロナ禍で取り組んだ経費削減効果により、営業収益の獲得により損益分岐点を超過する営業収益が大きく寄与し、営業利益・経常利益は大幅増益となりました。
- 特別損失は、減損損失が縮小しました。

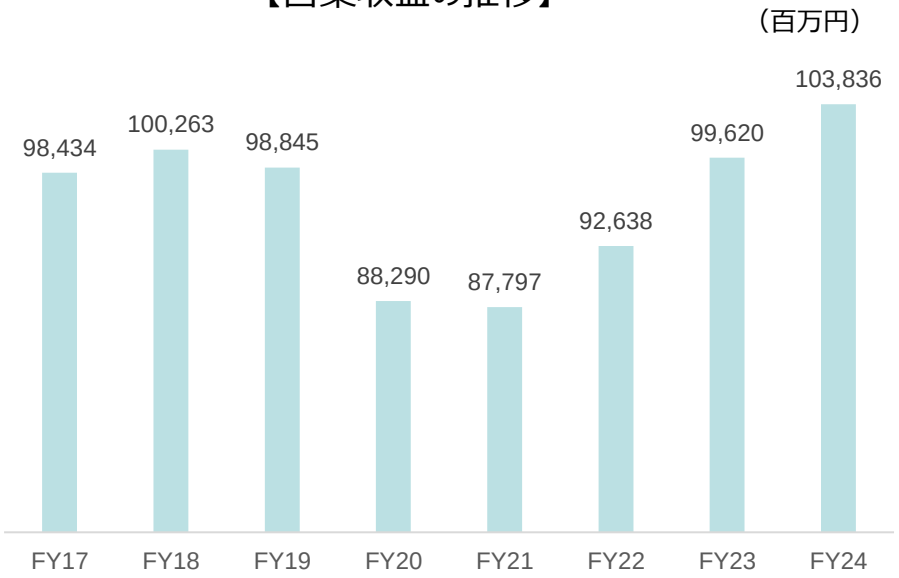
# 事業セグメント・連結業績推移

【事業セグメント別構成比（2025年3月期）】

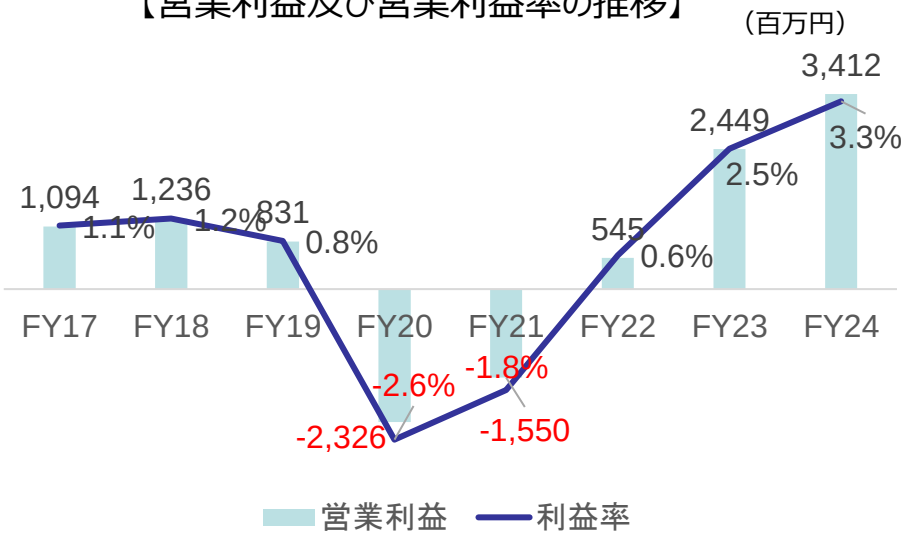



流通事業　運輸事業　観光事業　不動産事業　その他＊2

【営業収益の推移】




【営業利益及び営業利益率の推移】




*1　営業収益、営業利益は報告セグメントベース
*2　その他のサービス事業（保険事業など）

# 事業セグメント・業績概要

（単位：百万円、百万円未満切捨て）

## ■①流通事業

| | 2024年3月期 | 2025年3月期 | 前期比 | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 営業収益 | 74,851 | 76,739 | +1,887 | 2.5% |
| 営業利益 | 1,635 | 1,619 | △15 | △1.0% |

商品価格の見直しによる単価の上昇等が貢献し、増収となりました。一方、仕入原価の上昇や人件費の増加等が利益を下押ししたことにより、営業利益は伸び悩みました。

## ■②運輸事業

| | 2024年3月期 | 2025年3月期 | 前期比 | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 営業収益 | 12,189 | 13,301 | +1,111 | 9.1% |
| 営業利益 | 882 | 1,590 | +707 | 80.1% |

国内外の観光需要が回復し、上高地や白馬等への輸送を担う観光系路線が天候にも恵まれ需要を取り込んだことに値上効果等も加わり、大幅な増収増益となりました。

## ■③観光事業

| | 2024年3月期 | 2025年3月期 | 前期比 | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 営業収益 | 11,173 | 12,062 | +889 | 8.0% |
| 営業利益 | 373 | 499 | +126 | 33.9% |

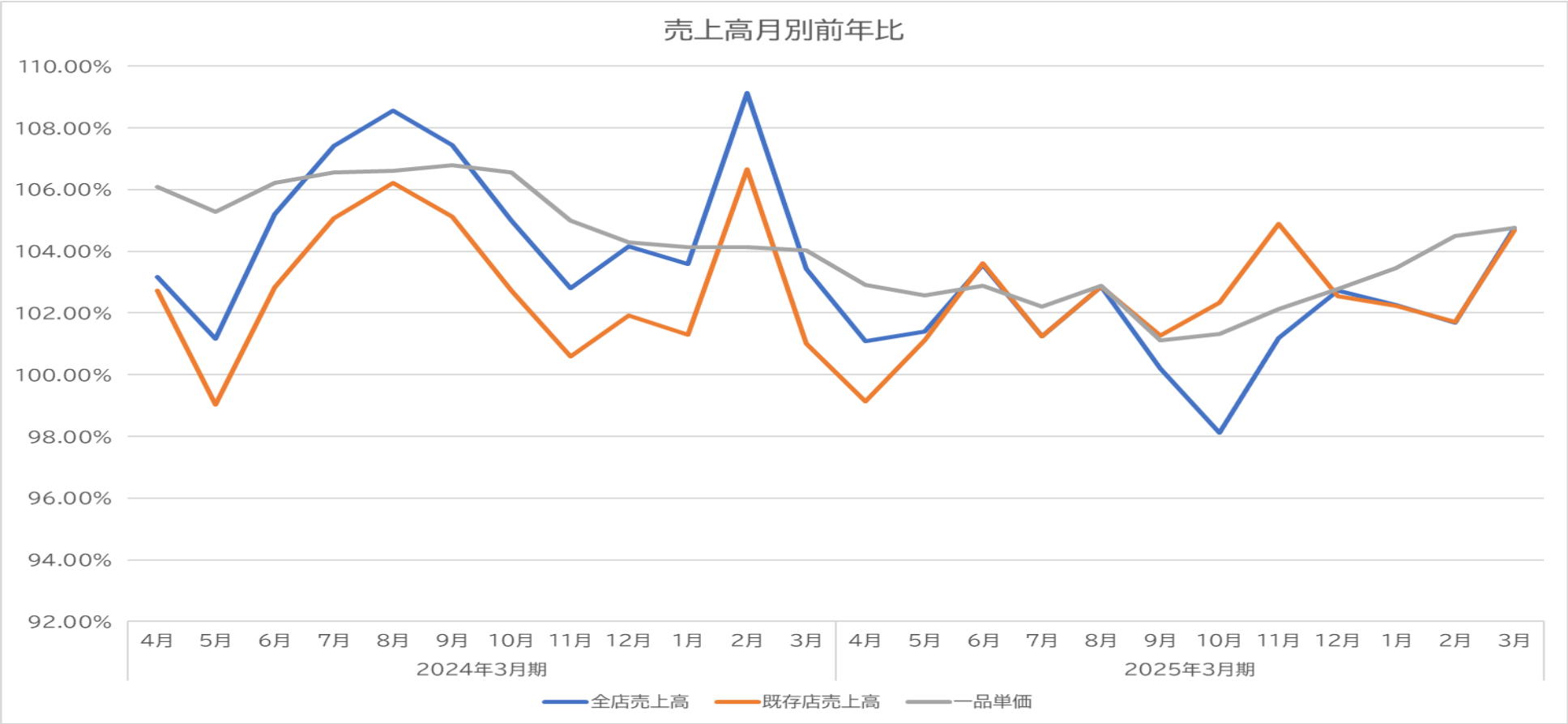
ホテル・旅館事業は、全６施設において宿泊を中心に回復基調が継続しました。観光需要の回復により旅行事業も好調で観光事業総体で前年同期比で大幅な増収増益となりました。

## ■④不動産事業

| | 2024年3月期 | 2025年3月期 | 前期比 | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 営業収益 | 1,312 | 1,396 | +84 | 6.4% |
| 営業利益 | 91 | 160 | +68 | 74.7% |

別荘分譲地管理事業の分譲区画販売及びテナント賃貸事業は引き続き好調に推移し、増収増益となりました。

# ＜参考資料＞流通事業　スーパーマーケット　月別売上高の前年対比



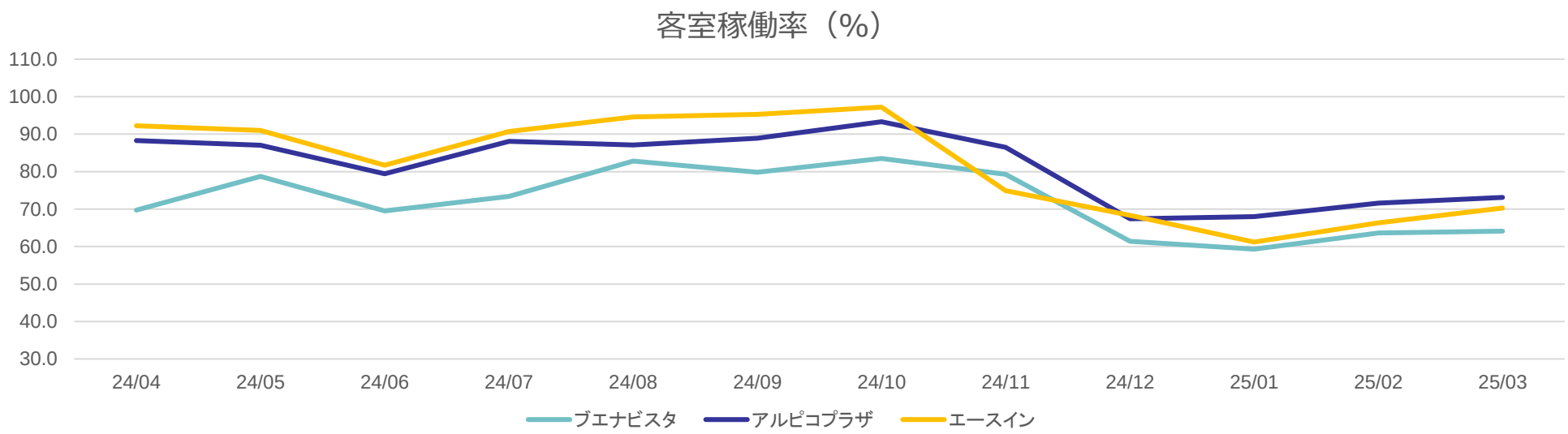

※既存店売上高は、新店店舗を除外対象としています（開店後12か月間）　また大規模改装店舗についても閉店期間を含め同様に対象外としています

## 概況

- 天候不良による青果物や米の高値推移等における影響もあり、第４四半期は売上好調で推移
- 前年がうるう年により1日少ない営業日数にも関わらず2月は前年同月を上回り、3月も好調に推移

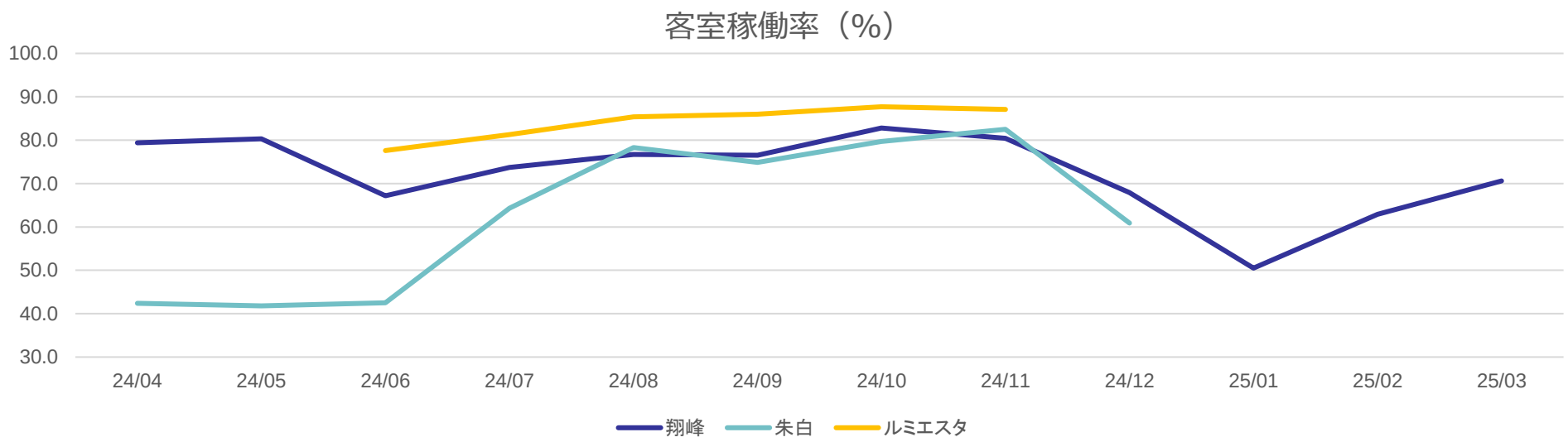
# ＜参考資料＞観光事業　ホテル・旅館の施設別稼働率と単価の推移

| | | | 24/04 | 24/05 | 24/06 | 24/07 | 24/08 | 24/09 | 24/10 | 24/11 | 24/12 | 25/01 | 25/02 | 25/03 | 概況 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ブエナビスタ | 客室稼働率 | % | 69.7 | 78.7 | 69.5 | 73.4 | 82.8 | 79.8 | 83.5 | 79.3 | 61.4 | 59.3 | 63.6 | 64.1 | 稼働、単価ともに前年を上回って推移しました。早期の団体予約受注が稼働のベースとなり単価の上昇につながりました。 |
| | 前年比 | pt | -5.9 | 2.6 | 4.6 | 5.3 | 4.0 | 8.5 | 9.0 | 7.9 | 8.7 | 16.5 | 6.2 | 0.6 | |
| | 室単価（ADR） | 円 | 14,598 | 13,438 | 10,995 | 13,769 | 16,709 | 13,596 | 15,480 | 13,715 | 10,681 | 10,333 | 10,323 | 11,928 | |
| | 前年比 | 円 | 2,398 | 390 | 52 | 206 | 950 | 1,238 | 2,112 | 1,738 | -276 | 407 | 408 | 1,812 | |
| アルピコプラザ | 客室稼働率 | % | 88.3 | 87.0 | 79.4 | 88.1 | 87.1 | 88.9 | 93.3 | 86.5 | 67.4 | 68.0 | 71.6 | 73.1 | 一部の月で稼働が前年を下回ったものの、高単価を維持し売上を最大化する販売戦略によるものであり、売上は好調に推移しました。 |
| | 前年比 | pt | 2.9 | 2.3 | 0.1 | 7.6 | -4.3 | -2.6 | 0.8 | 2.2 | -7.6 | 0.2 | -8.4 | -9.5 | |
| | 室単価（ADR） | 円 | 10,723 | 11,542 | 9,458 | 10,465 | 15,602 | 11,439 | 13,003 | 11,415 | 8,391 | 8,108 | 8,229 | 9,405 | |
| | 前年比 | 円 | 1,630 | 873 | 933 | 563 | 2,282 | 1,803 | 2,176 | 1,724 | 798 | 932 | 672 | 1,241 | |
| エースイン | 客室稼働率 | % | 92.2 | 91.0 | 81.7 | 90.7 | 94.6 | 95.3 | 97.2 | 74.9 | 68.3 | 61.2 | 66.3 | 70.3 | 多くの月で過去最高水準の稼働となり、単価も前年を上回りました。 |
| | 前年比 | pt | 3.1 | 6.7 | 0.7 | 3.9 | 2.4 | 3.2 | 2.7 | -10.1 | -1.8 | 0.4 | 0.5 | -2.0 | |
| | 室単価（ADR） | 円 | 6,712 | 6,943 | 6,617 | 7,312 | 9,043 | 7,659 | 8,045 | 7,952 | 6,316 | 6,117 | 6,489 | 6,944 | |
| | 前年比 | 円 | 712 | -248 | 289 | 1 | 508 | 715 | 777 | 813 | 270 | 358 | 308 | 834 | |



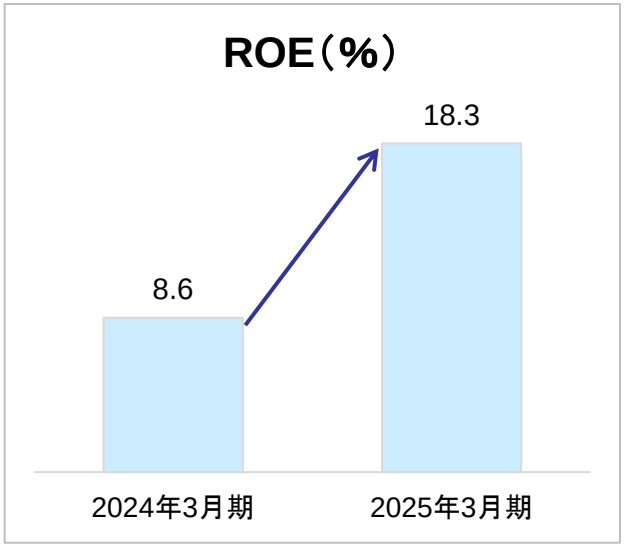
# ＜参考資料＞観光事業　ホテル・旅館の施設別稼働率と単価の推移

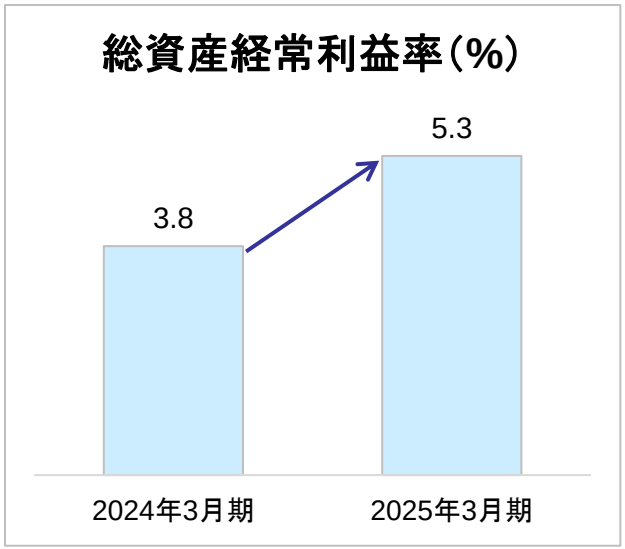
| | | | 24/04 | 24/05 | 24/06 | 24/07 | 24/08 | 24/09 | 24/10 | 24/11 | 24/12 | 25/01 | 25/02 | 25/03 | 概況 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 翔峰 | 客室稼働率 | % | 79.4 | 80.3 | 67.2 | 73.7 | 76.7 | 76.5 | 82.8 | 80.4 | 67.9 | 50.5 | 62.9 | 70.6 | 団体・個人ともに集客が好調に推移。稼働水準を維持しつつ単価を高めることができ、大幅増収となりました。 |
| | 前年比 | pt | 12.0 | 3.4 | -7.9 | 1.5 | -0.7 | -0.1 | -1.5 | -6.8 | 1.8 | -6.4 | 2.4 | -0.7 | |
| | 客単価 | 円 | 23,460 | 22,897 | 22,480 | 24,109 | 28,483 | 25,523 | 26,035 | 24,859 | 21,706 | 22,616 | 18,843 | 21,188 | |
| | 前年比 | 円 | 2,011 | -556 | 3,204 | 2,215 | 2,545 | 3,193 | 2,838 | 3,565 | 1,288 | 1,571 | 144 | 1,726 | |
| 朱白 | 客室稼働率 | % | 42.4 | 41.8 | 42.5 | 64.3 | 78.3 | 74.9 | 79.7 | 82.6 | 60.9 | 改装休館 | 改装休館 | 改装休館 | 価格戦略の見直し等により夏季以降に稼働が上昇、特に秋季は高稼働となりました。 |
| | 前年比 | pt | -6.8 | -17.6 | -17.6 | 16.4 | 10.2 | 26.7 | 51.2 | 46.1 | 38.4 | | | | |
| | 客単価 | 円 | 21,625 | 23,056 | 20,439 | 20,352 | 27,458 | 20,257 | 21,211 | 20,860 | 20,538 | | | | |
| | 前年比 | 円 | 4,799 | 4,959 | 5,430 | 2,447 | 658 | 2,328 | -1,796 | -2,334 | -2,771 | | | | |
| ルミエスタ | 客室稼働率 | % | 改装休館 | 改装休館 | 77.6 | 81.3 | 85.4 | 86.0 | 87.7 | 87.1 | 冬季休館 | 冬季休館 | 冬季休館 | 冬季休館 | 改装による単価アップは想定どおり進捗し、稼働も概ね好調に推移しました。 |
| | 前年比 | pt | | | 13.4 | -0.5 | 3.7 | 1.4 | 2.4 | 19.4 | | | | | |
| | 客単価 | 円 | | | 46,946 | 51,297 | 55,021 | 50,433 | 53,256 | 49,454 | | | | | |
| | 前年比 | 円 | | | 16,605 | 14,636 | 12,314 | 13,736 | 13,255 | 17,325 | | | | | |

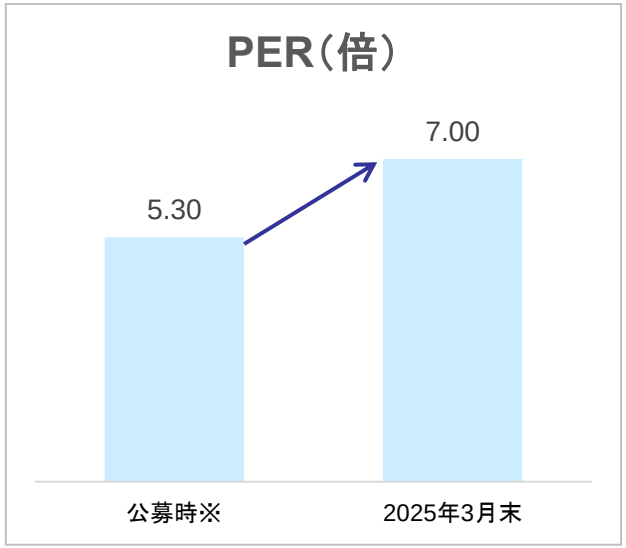


# 2025年3月期 通期決算概要（連結）

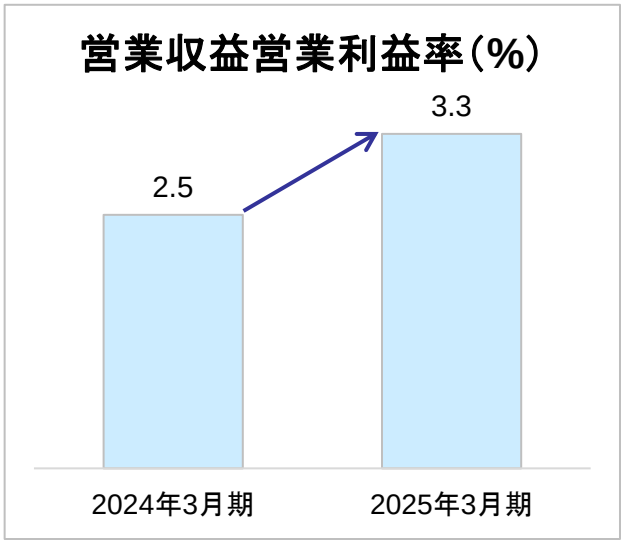
## ■主な指標

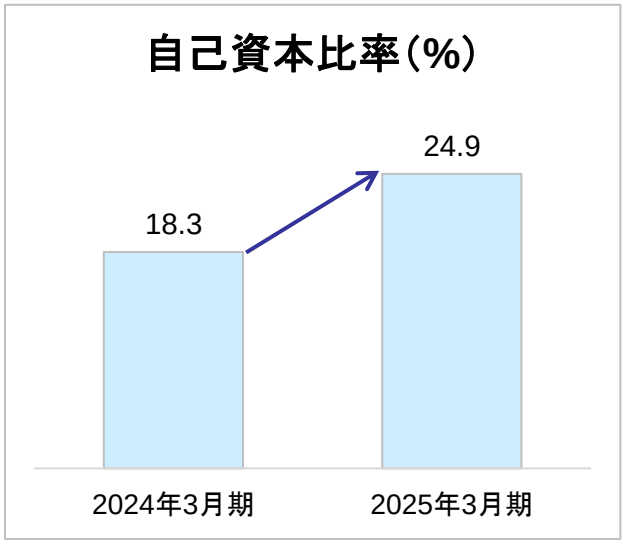


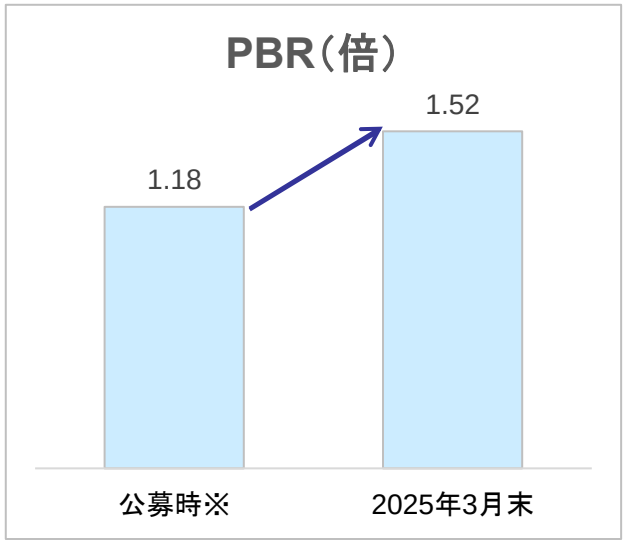




※公募時は、公募価格と2025年3月期第3四半期（累計）1株当たり純利益で算出




※公募時は、公募価格と2025年3月期第3四半期（累計）1株当たり純資産で算出

# 2025年3月期 通期決算概要（連結）

## ■連結貸借対照表

（単位：百万円、百万円未満切捨て）

| | 2024年3月期 | 2025年3月期 | 増　減 |
|---|---|---|---|
| 流動資産 | 13,993 | 14,683 | 690 |
| 固定資産 | 43,577 | 43,663 | 85 |
| **資産合計** | 57,570 | 58,346 | 775 |
| 流動負債 | 23,041 | 19,792 | △3,249 |
| 固定負債 | 23,995 | 24,035 | 40 |
| 負債合計 | 47,037 | 43,828 | △3,208 |
| 純資産合計 | 10,533 | 14,518 | 3,984 |
| **負債純資産合計** | 57,570 | 58,346 | 775 |

## ■連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円、百万円未満切捨て）

| | 2024年3月期 | 2025年3月期 | 増　減 |
|---|---|---|---|
| 営業活動による<br>キャッシュ・フロー | 10,327 | 2,503 | △7,823 |
| 投資活動による<br>キャッシュ・フロー | △3,062 | △1,955 | 1,106 |
| 財務活動による<br>キャッシュ・フロー | △4,530 | 181 | 4,711 |
| 現金及び現金同等物の増減額<br>（△は減少） | 2,734 | 729 | △2,005 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,687 | 5,422 | 2,734 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 5,422 | 6,151 | 729 |

# 2. 2026年3月期通期 見通し

# 2026年3月期 見通し（連結）

## ■業績見通し

（単位百万円、百万円未満切り捨て）

| | 通　期 | | | | 第2四半期（累計） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 2025年3月期実績 | 2026年3月期予想 | 前年同期比 | | 2025年3月期実績 | 2026年3月期予想 | 前年同期比 | |
| | | | 差額 | 増減率(%) | | | 差額 | 増減率(%) |
| 営業収益 | 103,836 | 105,500 | 1,663 | 1.6 | 52,278 | 53,100 | 821 | 1.6 |
| 営業利益 | 3,412 | 3,100 | △312 | △9.2 | 2,423 | 2,300 | △123 | △5.1 |
| 経常利益 | 3,060 | 2,600 | △460 | △15.0 | 2,238 | 2,000 | △238 | △10.7 |
| 親会社株主に帰属する当期（中間）純利益 | 2,292 | 1,500 | △792 | △34.6 | 1,651 | 1,200 | △451 | △27.4 |

### 業績見通しに関する説明

- 引き続きインバウンドの増加を想定しております。また、当社グループの業績には、季節変動があります。例年グリーンシーズンである第２四半期、次いで第１四半期の業績におけるウエイトが高くなっております。2026年３月期も同様に推移するものと見込んでおります。
- 賃上げ等による人件費の増加、繰越欠損金の解消による税負担の増加等により、減益を見込んでおります。
- 原材料価格やエネルギー価格は高止まりすることが想定されるため、価格見直しを進めるとともに、コスト削減と生産性の向上により収益性の改善に努めてまいります。

# 今期の主要施策

| | |
|---|---|
| **流 通 事 業** | ✓新たな店舗ブランド「デリシアミールズ」を中心とした惣菜強化型店舗への改装・新規出店 |
| **運 輸 事 業** | ✓上高地や白馬などの観光路線バスの強化 |
| **観 光 事 業** | ✓既存施設を改装し高単価路線への転換 |
| **不動産事業** | ✓長野県内主要観光地におけるエリア開発 |

# 流通事業の成長戦略

➢ 新たな店舗ブランド「デリシアミールズ」を中心とした総菜強化型店舗の新規出店と店舗ブランドの改装や、新たな販売チャネルの開拓

✓ 生活様式の変化（共働き世帯の増加）や高齢化による中食需要の拡大に対応した**"お総菜"**の強化

✓ 2025年度は長野市川中島での新規出店と１店舗ブランドの改装を計画

**移動スーパー「とくし丸」**

とくし丸　36台稼働（2025年3月末）

**デリシアネットスーパー**

18拠点稼働（2025年3月末）

**ピコカプラスカード**

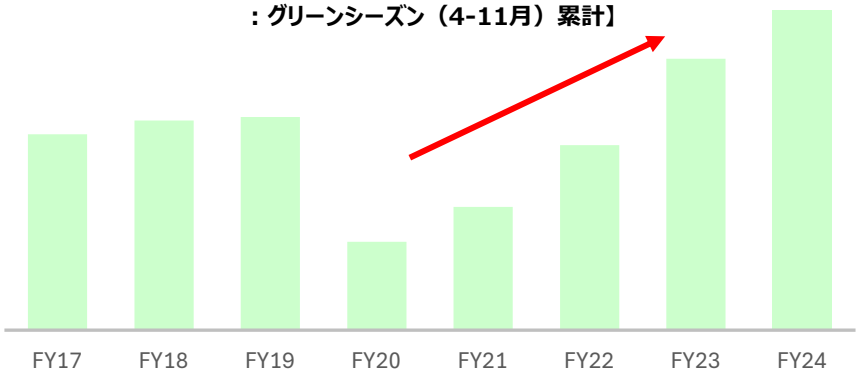
# 運輸事業の成長戦略

- FY24（2025年3月期）は上高地・白馬エリア共に、乗降客数は前年を上回る利用実績
- さらなるインバウンドの増加が期待される、上高地・白馬エリアを中心とした観光路線バス強化
- タクシー事業は、軽井沢エリアに営業所を新設予定（2025年10月）

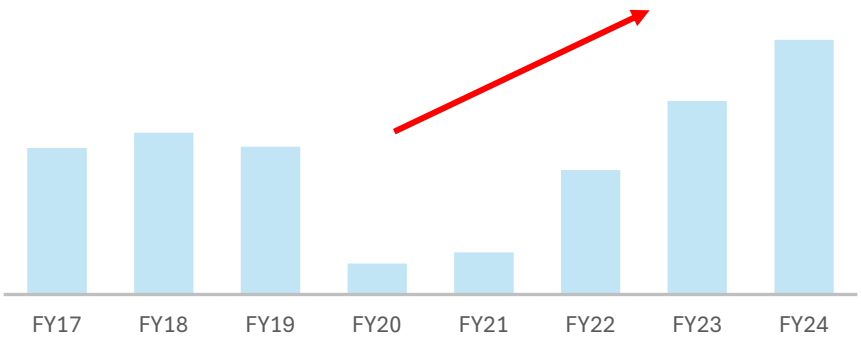
**上高地・乗鞍・白骨エリアの路線バス**

**白馬エリアの路線バス**

**【上高地・乗鞍・白骨エリアの路線バス需要（乗降客数）**
**：グリーンシーズン（4-11月）累計】**




**【特急バス長野-白馬線の需要（乗降客数）**
**：スノーシーズン（12-3月）累計】**



# 観光事業の成長戦略

➢ 客室の改装などによる高付加価値化による客単価の上昇

※改装後の客室稼働率、客単価は6ページに記載

■上高地ルミエスタホテルの高付加価値化改装

（リニューアル後の客室例）

上高地ルミエスタホテルは、2024年に16室の客室を大幅リニューアル。上高地圏内でも有数の広い客室で、45㎡以上の広い客室には大自然を存分に楽しめる幅5mの映画館のスクリーンのような窓をあしらえ、独立型の大型の浴槽にはぜいたくに温泉を源泉かけ流し、快適な滞在を提供

■信州上諏訪温泉　諏訪別邸　朱白の高付加価値化改装

「双泉の宿 朱白」は、大規模改装を経て「信州上諏訪温泉　諏訪別邸　朱白」と屋号を新たに、2025年5月1日にリニューアルオープン。新たに誕生した「湖面客室」は、従来の12室を6室に拡張、改装し、旅館近くの諏訪湖の景色を存分に楽しめる特別な客室に。また食事会場やロビーも一新し、より快適に、贅沢な空間をご提供

（信州上諏訪温泉　諏訪別邸　朱白）

※その他施設では、2025年に「ホテルブエナビスタ」、2025-26年に「美ヶ原温泉 翔峰」を改装計画

# 株主還元について

## ■配当金について

| 普通株式<br>1株当たり配当金 | 2025年3月期 | 2026年3月期予想 |
|---|---|---|
| 中間配当金 | 0.00円 | 0.00円 |
| 期末配当金 | 普通配当3.00円<br>記念配当2.00円※ | 5.00円 |
| 年間配当金 | 5.00円 | 5.00円 |

※上場記念配当であります

### 配当金に関する方針

- 当社は、グループ全体の経営基盤の強化、企業価値の向上を図ることで財務体質を強化し、株主の皆様に対して安定した配当を維持する方針であります。当社は、期末配当として年１回の剰余金の配当を行うことを基本方針としております。
- 2026年３月期の期末配当金は、普通株式１株当たり5.00円を予定しております。

## ■株主優待について

- 当社は株主優待制度を導入しておりません。
  今後、株主優待制度を導入する場合は、速やかに適時開示する予定です。

# 3.長期ビジョン及び
# 中期経営計画（2025-2027）

# 長期ビジョン概要（2035）

## ALPICO VISION 2035

### 2035年のありたい姿

**「楽しさ・ときめき」を創出し、付加価値を高めることで**
**持続的な地域の発展に貢献している企業グループ**

### アルピコグループが提供する価値

| 従業員 | お客様 | 地域社会 | お取引先 | 株主 |
|---|---|---|---|---|
| 誇りを持って<br>活き活きと働ける<br>環境 | ニーズに応えた<br>高品質な<br>サービス・商品 | 便利で快適な<br>生活インフラの<br>提供 | 相互の利益を<br>追求する強固な<br>パートナーシップ | 長期的な<br>企業価値向上 |

# 長期ビジョン概要 ： 2035年までの方向性

➢アルピコグループは生活インフラ提供、観光振興を通じ地域価値を向上させ、楽しさ・ときめきを創出して地域と共に成長していく。これらの取り組みを持続可能なものにするために、経営基盤を強化していく

## 便利で快適な暮らしを実現する生活インフラを提供

- 地域密着型スーパーマーケットとして、店舗網・販売チャネルの充実による面的展開
- バス、タクシー、オンデマンド、ライドシェア等のベストミックスによる人口減・高齢化社会への順応
- 自動運転、AIなどの新技術の積極的導入、効率的かつ顧客利便性の高い交通システムの構築
- 所有不動産および取得不動産を活用した新たな街づくりの推進

## 世界に誇る山岳リゾート信州の価値創造

- 長野県を代表する総合観光・リゾート企業としてのブランドの定着・浸透
- 長野県全域における観光資源の開拓・高付加価値化、アクセシビリティの確保による世界に選ばれる観光地域の創設
- 別荘事業および新たな不動産事業による二拠点居住・リモート居住等新たなライフスタイルの提供
- インバウンド観光産業をエンジンとして、地域社会の持続性を高める

## 安全・安心を基盤としたサスティナビリティ経営

- 安全・安心を維持向上させるための計画的な設備投資、施策展開
- 地域社会との連携強化、地域活性化への貢献
- 人的資本投資、ダイバーシティ・インクルージョン
- 環境経営実施
- ICT技術をフル活用したビジネス変革
- 地域価値向上につながる新規事業開発

# 中期経営計画概要

## VISION（2027年のあるべき姿）

- グループ総合力を発揮し、新たな事業価値の創造を積極的に展開している企業グループ
- 生活インフラ・観光インフラをベースに付加価値の高いサービスを提供し、活力ある信州をリードしている企業グループ
- 環境に配慮した活動を積極的に実践している企業グループ

## MISSION（ビジョンを実現するためになすべきこと＝中期的な経営戦略・主要施策）

### 果たしたい役割・使命

- 時代を先取りする新たな事業の開発やサービスの展開により、地域に「楽しさ・ときめき」を提供する
- 時代と環境変化に即応する柔軟な企業風土の醸成により新たな事業価値を創造する
- SDGsに積極的に取り組み、社会課題解決に資する役割を果たす

### 実現したいこと

- 積極的な人への投資により、従業員の資質と能力をUPさせると共にエンゲージメントを向上させる
- 既存事業の深掘りにより長期安定的な収益基盤を固める
- 新規事業領域への踏み込みを強化し、グループシナジーのさらなる向上を図る

## VALUE（ビジョンを実現するために大切にする価値観＝行動規範・組織風土）

- グループ役職員全員が明確な将来展望を持ち、失敗を恐れず革新的な思考に基づいた変革を実践する
- グループ横断的な体制構築により、アルピコ企業グループのシナジー効果を最大限に発揮する

## 経営方針

- 将来を見据えた積極投資・施策を行うことで、アルピコグループの成長基盤を確立する

# 中期経営計画の骨子： 3 つの基本方針

- 2035年に向けた持続可能な成長を目指し、3つの基本方針を設け、各戦略を着実に実行していく

## 1． 大胆な成長戦略

- 「既存事業の成長」に加え、「M&Aの推進」「事業エリア深耕・拡大」「新規事業創出」により成長を加速させる
- 事業の拡大は、地域からの信頼・ネットワークで優位性があるエリアを想定し、グループシナジーを最大限発揮し、多角的に展開する

## 2． 変化に立ち向かう柔軟な構造改革

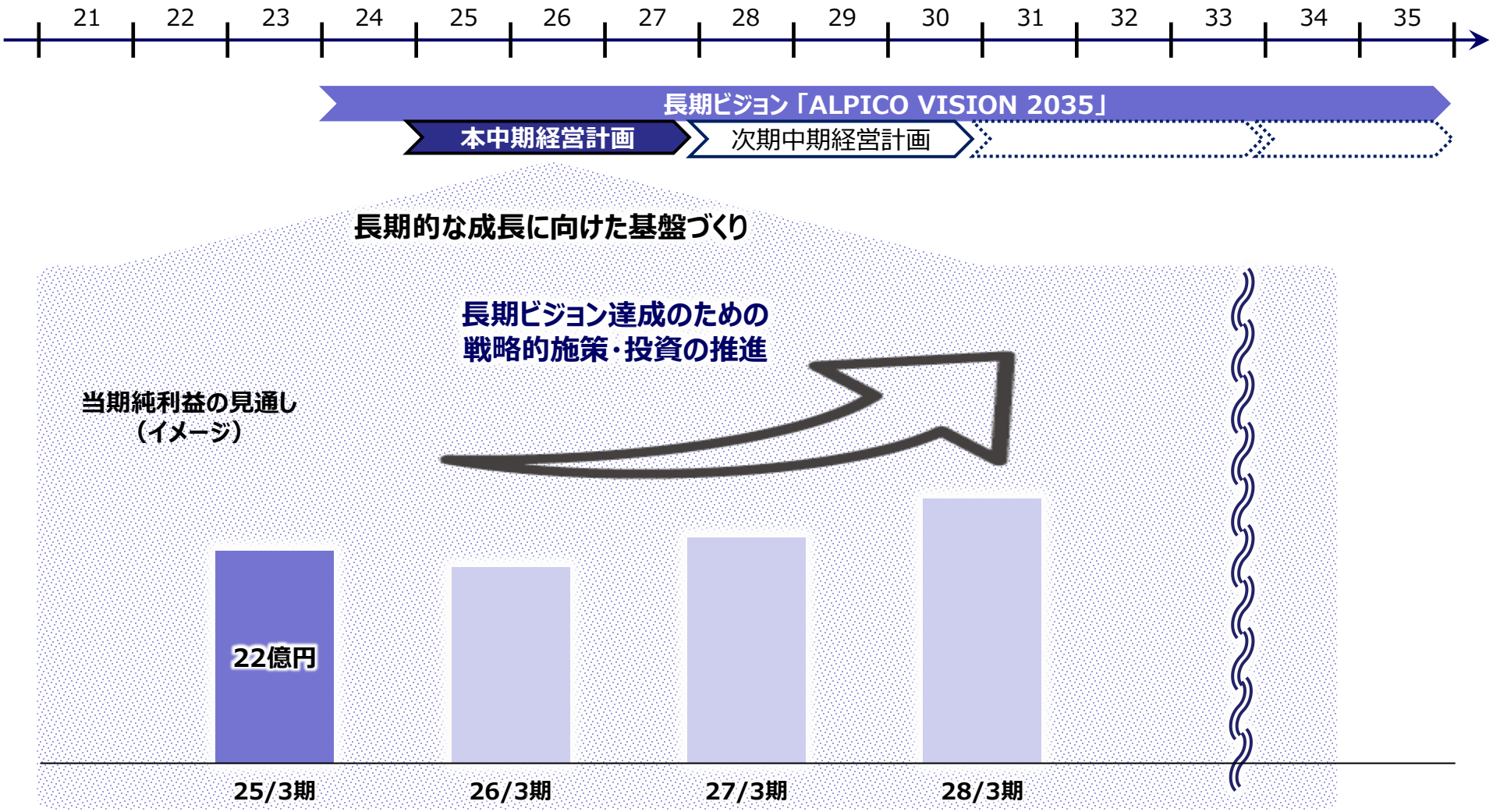
- 変化の激しいビジネス環境において、柔軟で適応力のある組織を築るため各種取り組みを展開

## 3． 地域の未来を創るサステナビリティ経営

- 持続的な価値創造の最重要基盤である人材への投資を強化
- 地域に根差す企業グループとして、持続可能な社会実現に貢献

# 連結業績推移（計画）

➢ 中期経営計画期間においては既存事業の拡大と同時に、中長期的な課題へ対応した新しい事業戦略を遂行するため、2035年を見据えた成長戦略の基盤を築く施策を着実に推進



# APPENDIX

# 会社概要

| | |
|---|---|
| **会社名** | アルピコホールディングス株式会社 |
| **本社所在地** | 長野県松本市井川城2丁目1番1号 |
| **代表者** | 代表取締役社長　佐藤　裕一 |
| **設立年月日** | 2008年5月1日　（旧松本電気鉄道からの株式移転により設立） |
| **創立年月日** | 1920年3月25日　（筑摩鉄道を創立） |
| **資本金** | 1,304,925千円　（2025年3月31日現在） |
| **株主数** | 11,995人　（2025年3月31日現在、前期末比 10,595人増） |
| **単体従業員数** | 41人　（2025年3月31日現在） |
| **連結従業員数** | 1,953人　（2025年3月31日現在） |
| **関係会社** | 計11社 |
| **連結営業収益** | 103,836百万円　（2025年3月期実績） |
| **連結営業利益** | 3,412百万円　（同上） |
| **連結当期純利益** | 2,292百万円　（同上） |

アルピコホールディングス本社屋（松本市）

## 経営理念

アルピコグループは、
信州に暮らす人々とその素晴らしい自然環境を愛し
「安全・安心」「便利」「快適」
「楽しさ・ときめき」「知識」の提供を通じて
豊かな地域社会の実現に貢献します。

## 行動指針

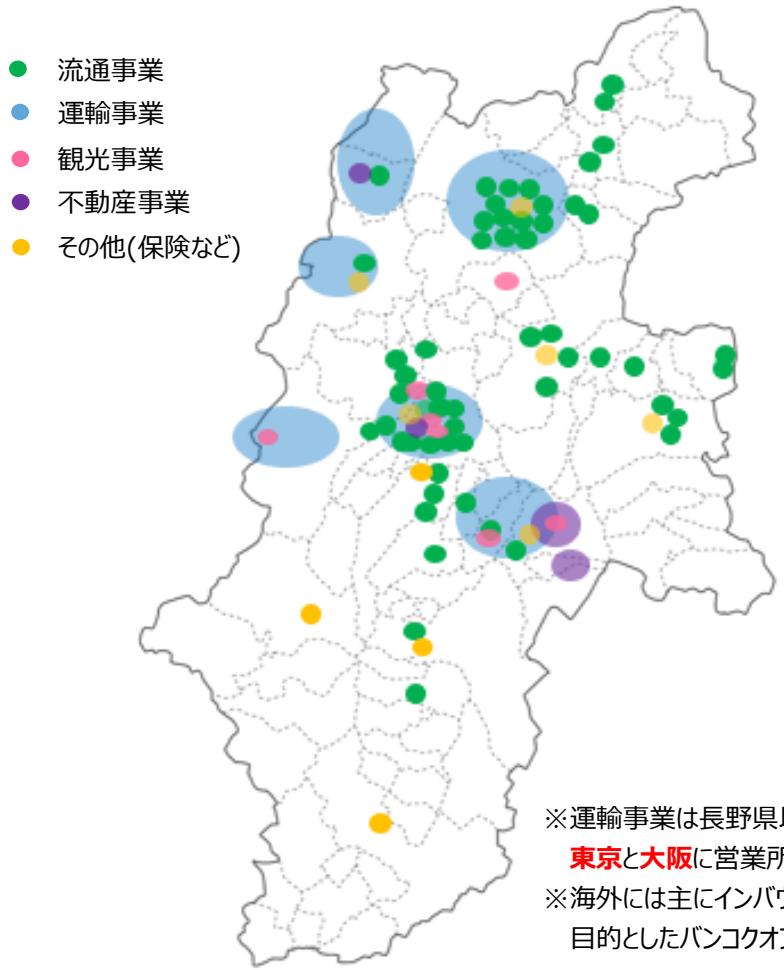
アルピコグループの宝は
地域のお客様からの信頼です。
私たちはお客様の満足でNo.1を目指し、
誠実に行動します。

# アルピコグループとは

アルピコグループは長野県中心に流通、運輸、観光、不動産事業等を展開する

**長野県を代表する"総合生活関連企業グループ"**

【ALPICOグループの事業エリア】




※運輸事業は長野県以外にも
**東京**と**大阪**に営業所があります
※海外には主にインバウンド誘客を
目的としたバンコクオフィスがあります

（上高地）

【社名（ALPICO）の由来】

日本アルプスを背景とする地域において事業展開していることから
「**ALPI**NE **CO**RPORATIONS」より「**ALPICO アルピコ**」と命名

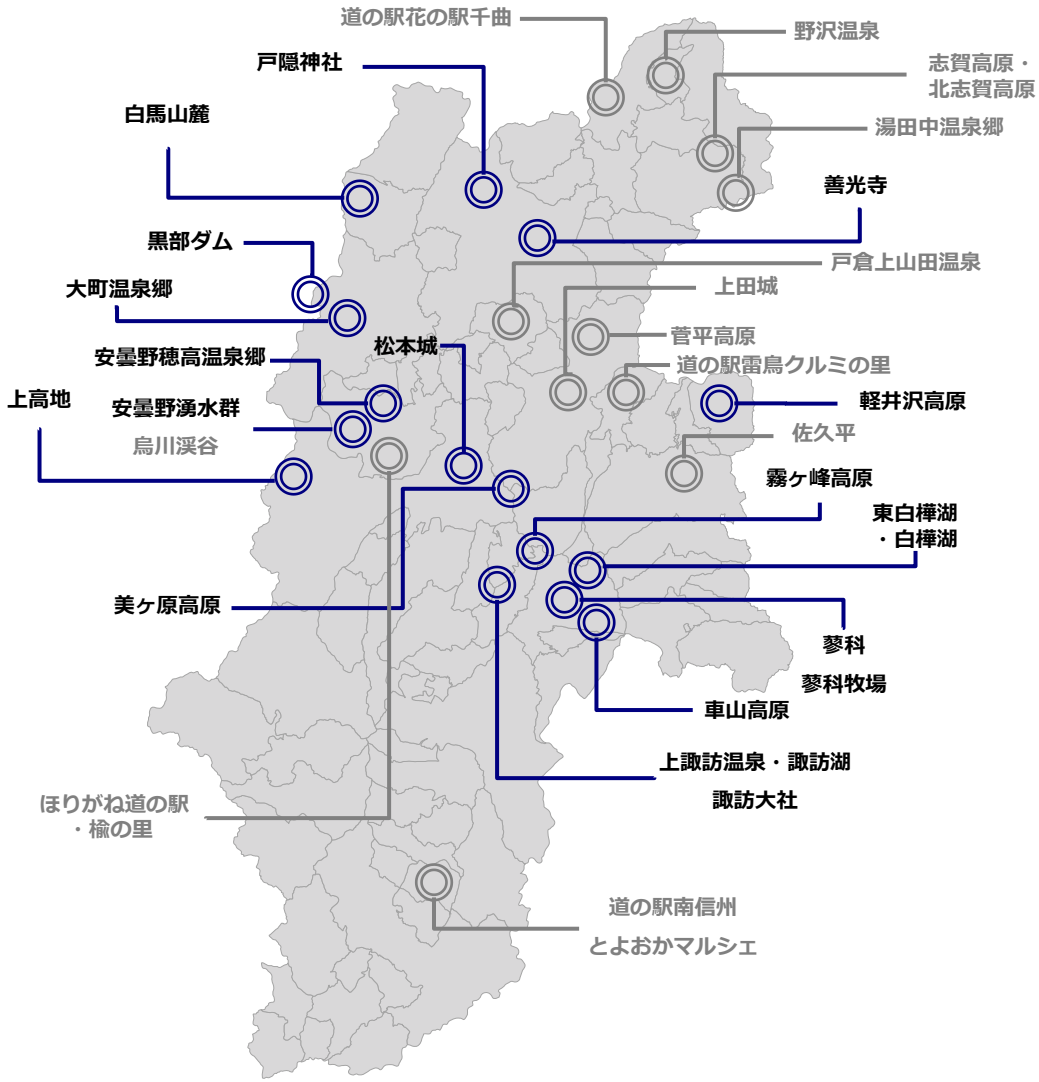
# アルピコグループの事業会社

| | 事業会社* | 主な事業内容 |
|---|---|---|
| アルピコホールディングス㈱ | ㈱デリシア | スーパーマーケット事業、外食事業、ピコカカード事業 |
| | ㈱マックドラッグ | 調剤薬局、ドラッグストアの運営 |
| | アルピコ交通㈱ | 乗合・貸切バス、鉄道、サービスエリア、不動産、自動車整備 |
| | アルピコタクシー㈱ | 一般タクシー、貸切バス、自治体バス受託運行 |
| | アルピコホテルズ㈱ | ホテル6施設の運営、船舶事業 |
| | アルピコ長野トラベル㈱ | 旅行代理店 |
| | アルピコリゾート＆ライフ㈱ | ゴルフ場、別荘地管理、レジャー |
| | アルピコ蓼科高原リゾート㈱ | 別荘地管理 |
| | アルピコ保険リース㈱ | 保険代理店、リース業務 |
| | 松電事業協同組合 | グループETC団体利用事業 |
| | 長野エフエム放送㈱ | FM放送事業 |

*2025年3月31日現在、長野エフエム放送㈱以外の各社に対する議決権の保有割合は100.00%

# 国内外から人気の高い観光地において事業展開

## 【2023年　長野県主要観光地（延べ利用者数上位30ヵ所）*】




| No. | 観光地名 | 利用客数（千人） |
|---|---|---|
| 1 | 軽井沢高原 | 7,713 |
| 2 | 善光寺 | 5,803 |
| 3 | 上諏訪温泉・諏訪湖 | 3,593 |
| 4 | 志賀高原・北志賀高原 | 2,673 |
| 5 | 白馬山麓 | 2,339 |
| 6 | 霧ヶ峰高原 | 2,122 |
| 7 | 東白樺湖・白樺湖 | 2,110 |
| 8 | 蓼科 | 1,627 |
| 9 | 戸隠高原 | 1,511 |
| 10 | 上田城跡 | 1,357 |
| 11 | 上高地 | 1,327 |
| 12 | 安曇野湧水群 | 1,304 |
| 13 | 道の駅 花の駅千曲川 | 1,108 |
| 14 | 諏訪大社 | 1,099 |
| 15 | 美ヶ原高原 | 1,087 |
| 16 | 道の駅南信州とよおかマルシェ | 1,034 |
| 17 | 菅平高原 | 1,026 |
| 18 | 安曇野穂高温泉郷 | 1,024 |
| 19 | 湯田中渋温泉郷 | 1,005 |
| 20 | 佐久平 | 918 |
| 21 | 道の駅雷電くるみの里 | 909 |
| 22 | 松本城 | 885 |
| 23 | 大町温泉郷 | 800 |
| 24 | 戸倉上山田温泉 | 765 |
| 25 | 黒部ダム | 748 |
| 26 | 烏川渓谷 | 725 |
| 27 | 野沢温泉 | 715 |
| 28 | 車山高原 | 702 |
| 29 | 蓼科牧場 | 694 |
| 30 | ほりがね道の駅・楡の里 | 692 |

*出典：長野県「令和5年 観光地利用者統計調査結果」　**青色の◎**は当社グループの事業エリアの観光地

# 主要な事業セグメントと数字でみる各事業

➢ 「流通」「運輸」「観光」「不動産」を主力事業として展開

## 流通事業

食品スーパー「デリシア」51店舗、業務スーパー「ユーパレット」9店舗を運営。また、移動販売「とくし丸」やネットスーパー、無人店舗なども展開

店舗数*

**60店舗**

長野県内最大店舗数

## 運輸事業

松本・長野・茅野の市街地や、上高地、白馬、蓼科などを事業エリアとしバスやタクシーを運行。バス395台、タクシー408台（いずれも長野県内最大車両数）、鉄道8両保有

バス・タクシー車両*

**803台**

長野県内最大車両数

## 観光事業

松本市内5施設、諏訪市内1施設で宿泊事業を運営。それ以外ではサービスエリア4施設（諏訪上,梓川上、姨捨上下）や、蓼科でゴルフ場やキャンプ場などを運営

客室数*

**667室**

長野県内企業として

トップクラスの運営施設数

## 不動産事業

蓼科・原村エリア（標高1,200m～1,800m）で別荘地（ 949万㎡ ）を開発。また松本駅前に商業施設「アルピコプラザビル」や白馬の八方バスターミナルなど長野県内各地に不動産を保有

別荘敷地面積*

**949万㎡**

国内トップクラスの標高に

位置する広大な別荘地

*各数値は2025年3月末時点（弊社調べ）

# グループの沿革

➢ 祖業は鉄道業。「流通」、「観光」、「不動産」と事業領域を拡大し今日に至る

20 30 40 50 60 70 80 90 2000 10 20 IPO

## 1920年代

**創業（運輸事業）**

**1920年3月25日に筑摩鉄道㈱（現アルピコ交通㈱）を創立**。

翌年、松本～新村間の鉄道工事を竣工し、営業を開始。その後バス事業などへ拡大

筑摩鉄道㈱設立

## 1960年代

**流通事業への参入**

1967年に松電ストア横田店（スーパーマーケット）をオープン。

翌年に松電商事㈱（現㈱デリシア）を設立

松電ストア横田店

## 1980-90年代

**観光事業への参入**

1985年に東洋観光事業㈱（現アルピコリゾート＆ライフ㈱）を関連会社とし、蓼科事業を開始。

1986年に上高地清水屋ホテル（現上高地ルミエスタホテル）、1991年にホテルブエナビスタをオープン。1999年にホテル翔峰を改装しグランドオープン

ホテルブエナビスタ

## 2000年代

**設立（事業再生）**

経営の多角化を進展させていく過程での多額の資金投資と、バブル経済の崩壊により債務超過が発覚。

2007年「私的整理に関するガイドライン」に基づき事業再生計画書を作成し、金融支援を要請すると共に**2008年5月1日に持株会社アルピコホールディングス㈱を設立**し、グループの経営戦略を立案

本社旧社屋

## 2010-20年代

**事業基盤の整理と拡大**

2011年3月、地域の皆さまの支援と、3年間に亘って続けられた企業再編、経費削減やガバナンス強化によって、当初予定より2年前倒しで事業再生を果たす

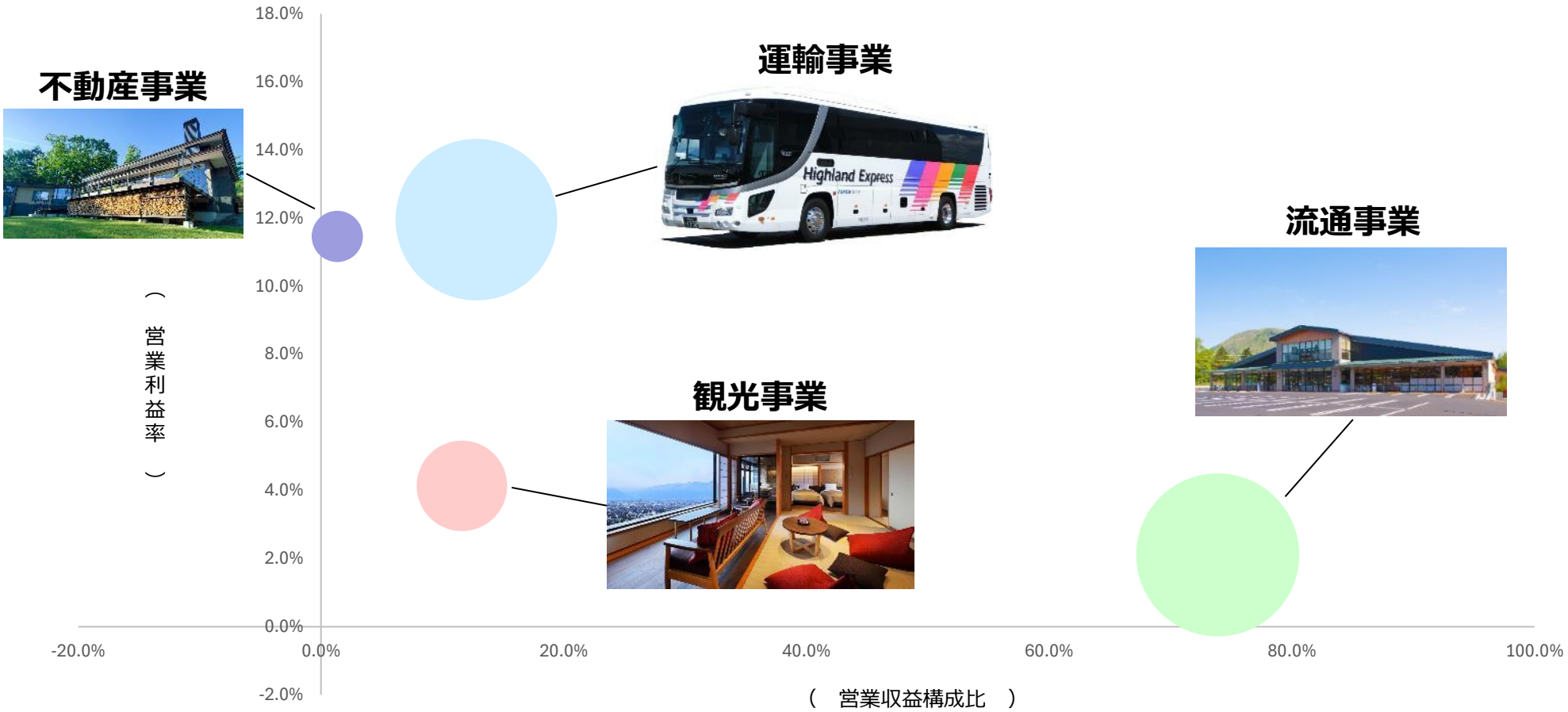
**2024年12月25日に東京証券取引所スタンダード市場に上場**

株式上場

# 多様な事業展開

➢ グループの基幹事業で安定成長を続ける流通事業と、継続的な訪日外国人観光客の増加に伴い今後も成長が期待できる観光・運輸事業による、バランスのとれた事業ポートフォリオ

【各事業の営業収益構成比と営業利益率（2025年3月期）*1】




*1　営業利益率は報告セグメントベース、バルーンの大きさは営業利益の規模

ALPICO GROUP